

〈URL〉 <http://www.teisotoyoka.com> 〈E-mail〉 info@teisotoyoka.com

思い出のダイビング

今年は、黒潮が伊豆沖で蛇行している関係で、捕獲される魚も天候も影響を受けているようです。なんでも、前回同じ現象が起こったときに、東京で大雪が降ったそうです。今年も同様な懸念がされているようですが、なにしろ天気のことですからどうなることやら。

さて、私事ですが、学生時代に行った民宿のおやじさんが漁師で、素潜りに連れて行ってくれました。それをきっかけに海に行くたびに、フィンとグラスとシュノーケルで楽しむようになりました。しばらくは、それで満足していたのですが、南の島で体験ダイビングをしたのがきっかけで、思い切ってダイビングライセンスを取得することにしました。これがまた病み付きになってしまいました。あの浮遊感と海の景色は経験しないと言葉では説明できません。聞こえるのは息を吸う音と、タンクからでる気泡音。廻りには魚が群れるというテレビでしか観たことがなかった景色が広がります。ダイビングのために、近眼用のグラスがめんどくさく、レーシックまでした次第です。透明度が深く珊瑚が多い海は、特にキレイです。

ここしばらくは、時間がなくあまり潜りに行かなくなりましたが、これまでにいって一番印象に残っている海をご紹介したいと思います。場所は、マレーシアの西アンダマン海にあるシパダン島です。日本から行くと不便で、ダイビングしかすることがないので、あまり日本人は行かないようです。シパダン島は入島制限がされているので、宿泊施設がありません。近くの隆起珊瑚礁にホテルがあるカパライ島に宿泊することにしましたが、この辺りの海は治安が悪いそうで、海賊を見張るためホテルには自動小銃をもったマレーシア海軍専用の部屋がありました。定期的にこのあたりの海を巡回しているそうです。こんな状況ですから、あまり人が来ず手つかずの海が残っているのかも知れません。

4日ほど滞在しましたが、ダイビングしかすることがなく、潜っては寝ての日々でした。本当に透明度も良く、生き物も豊富で飽きることなく過ごすことができました。もう二度と訪れるチャンスは無いかも知れませんが、グーグルアースでは宿泊した施設の部屋を観ることがができますので、がまんしようと思います。

今年もあと僅かを残すところとなりました。皆さまに取って良い年になりますよう祈念して、今年のメルガマを締めさせていただきます。良いお年をお迎えください。(MK)

カムリブダイの群れと泳ぐカメ



カパライのホテル



 今月のオススメ STRONTEC：コンパクトで設置場所を選ばない室内用の飛翔昆虫防除器です


(交換用カートリッジ)

微粒子状の薬剤噴霧で室内の飛翔昆虫の防除を自動で行なう防除機器です。ピレスロイド系の薬剤によって飛翔昆虫に対して即効性がありつつも薬剤の残留は少なく、煙も出ないのでオフィスや飲食店の客席にも安心してご使用いただけます。単三乾電池2本の電池駆動で最長3ヶ月使用でき、高さ23.5cm×奥行4.5cm×幅6cmとテレビのリモコンサイズの本体は電池と薬剤を含めても230gと軽く、両面テープでも壁面に十分に設置が可能です。

自然の復元力 Vol. 85

もうすぐにクリスマスが来ます。既に冬至（今年は12月21日）が過ぎました。例年、このころから寒気がやってきて、わが国では、本格的な冬の到来の時期、即ち、自然環境は低温の時期になります。そして、多くの広葉樹や草花は紅葉し、葉を落とし、昆虫達の多くは冬眠に入ります。

ところで、昆虫は変温動物に属し、外界の気温に大きく影響を受ける生物です。しかし、昆虫の体温は外界の気温と同じではありません。変温動物とはいえ、実は、昆虫にとって好ましい体温の範囲があって、その範囲内では正常な活動を行っています。その適応温度範囲は意外に狭く 25~35℃範囲であることが分かっています。外界温度が昆虫の好適温度範囲を超えて、異常に高くなったり、外気の気温が異常に低くなったりすると、様々な方法で、体温調整するか、休眠（夏眠、冬眠）して、昆虫にとって好ましくない外界温度の時期をのり超えています。

温帯・寒帯など地球の中緯度地方（温帯地方）や、高緯度地方（熱帯地方）では、気候変動が周年変化をもたらしています。そこで、その時がきてから休眠の準備をするのはリスクがありますので、仮眠するものは春、冬眠するものは秋に、休眠時期を予知し、休眠の準備を進めています。

それでは、昆虫は冬の到来を何時頃どうして知るのでしょくか？そこには温度・湿度、日長変化、餌となる植物の変化など様々な環境の要因が考えられますが、我が国の昆虫は、その中で日長の変化を冬の到来を知らせる要因とし、活用しています。日長の変化は安定した、また、精度の高い環境要因であり、冬季を予知する信号として、最高の環境要因と考えられます。加えて、この光周期性の変化は、昆虫類に対して直接的に影響を与えないという利点があります。しかし、現在のところ、光周期と休眠誘起とのメカニズムについては、まだ詳細は明らかになっていません。我が国の昆虫は、卵期、幼虫期、蛹期、成虫期など、様々な発育段階で越冬します。越冬形態は、生育地域や種によって異なります。越冬するステージは卵期と蛹期を合算すると全体の60%以上を占め、最も多い割合を示しています。

また、休眠中の昆虫は、周辺環境が凍りつく氷点以下の極寒状況になっても、冬眠中の昆虫は凍ることがないのが観察されています。カイコガを用いた研究によると、冬休眠当初に卵内にあるグリコーゲンがソルビトールとグリソロールに変換され、さらに一定期間低温に曝された後は、再びグリコーゲン濃度が高くなることが報告されています。このことより、例えば、カイコガが冬眠中凍結しないのは、グリコーゲン（多価アルコール）及びソルビトール（糖アルコール）によって凝固点効果がうまれているためと考察されています。昆虫の生き残り作戦は驚異的ですね。

(Sin)

参考図書：普後 一著「昆虫の知恵」東京農工大出版会、2008 松香 光夫著「昆虫の生物学」第2版、玉川大出版会、2000



チョウバエ対策グッズ!!! Green Drain



グリーンドレインを、排水溝の径に合わせて密着させ設置すると、水は流れますが、配管の中を這い上がってくるチョウバエ等の害虫や悪臭を阻止することを目的とした商品です。殺虫剤を使用しませんので、環境にやさしいIPMの理念に則った物理的対策が可能で、配管のつなぎ目に設置できるなど、容易に取り付けることが可能で、長期間の効果期待できます。お問い合わせはお気軽に。お待ちしております。



Eco Friendly Pest Management
自然にやさしい総合的有害生物管理
株式会社テイソートヨカ

IPM・コンサルティング・異物同定分析
有害生物(ネズミ、ゴキブリ等)管理・ノラバト飛来防止施工
〈URL〉 <http://www.teisotoyoka.com> 〈E-mail〉 info-teiso@teisotoyoka.com

本社・名古屋東営業所	〒468-0045	名古屋市天白区野並 2 丁目 334 番地の 2	TEL 052-891-8311	FAX 052-891-8440
名古屋西営業所	〒453-0818	名古屋市中村区千成通 4 丁目 18 番地	TEL 052-482-6591	FAX 052-482-8778
三重営業所	〒510-0863	三重県四日市市大字塩浜 4005 番地 1	TEL 059-345-3571	FAX 059-345-3572
岐阜営業所	〒501-6264	岐阜県羽島市小熊町島 4 丁目 61 番	TEL 058-392-6454	FAX 058-392-6407
北陸営業所	〒920-0356	石川県金沢市専光寺町夕 47 番地 1	TEL 076-266-6474	FAX 076-267-6480
新潟営業所	〒950-0993	新潟県新潟市中央区上所中 2 丁目 1 番 7 号	TEL 025-283-6474	FAX 025-283-6497
四日市技術研究所	〒510-0863	三重県四日市市大字塩浜 4005 番地 1	TEL 059-325-6431	FAX 059-325-6430